

カメ

Green turtle / *Chelonia mydas* / Aoumi-game / アオウミガメ

奄美大島は全世界 7 種類のうち 2 種のウミガメの回遊ルートの経由地点である。アオウミガメは其中でも最大級で、体重 180kg にも成長する。ウミガメは産卵のため、5～9 月の間に海から砂浜に出る。他のウミガメとは違い、アオウミガメは草食で、藻類や海草、海藻を主に食している。名前の由来は緑色の脂肪からで、学者は植物を主食としているからと考えている。甲羅は主に茶色かオリーブ色。奄美大島のサンゴの海周辺に若いアオウミガメが餌を食べているのが目撃できる。絶滅危惧種に指定されているが、近年は数が増えているようである。

Loggerhead turtle / *Caretta caretta* / Akaumi-game / アカウミガメ

アカウミガメの英名は、大きな頭と強力な顎から由来している。雑食で、顎の力で餌のアサリやウニの硬い殻を砕くことができる。長距離海を渡るが、アカウミガメは温暖な沿岸を好む。甲羅は赤茶色でハート型になっていて、オスは体重 120kg ほど。アカウミガメは絶滅危惧種に指定されていて、奄美大島では数が減少している。島では 100 か所以上がウミガメの産卵巣と特定されている。また、アカウミガメは地球の磁場を利用し、世界の海を渡った後、生まれた場所に戻り産卵する。